

富山大学ヘルン研究会・富山大学人文学部・富山大学附属図書館共催
2016年度富山大学学長裁量経費・科学研究費補助金挑戦的萌芽研究(16K13215)採択事業

ラフカディオ・ハーン研究シンポジウム

2017年2月11日(土)・12日(日)
富山大学人文学部3階第6講義室

2月11日(土) ラフカディオ・ハーンとアメリカ

- 13:10-13:40 ハーンのニューオリンズ時代における日本との出会い—『日本の詩警見』をめぐって
中島淑恵(富山大学)
- 13:40-14:10 ハーン『チター最後の島の記憶』を読む—アイルランドと日本の交点としてのアメリカ
結城史郎(富山大学)
- 14:20-14:50 ことば、記憶、“Creollization”—前衛小説として読むハーンの『チタ』
難波江仁美(神戸市外国語大学)
- 14:50-15:20 ハーンにおける「クレオール性」の再読解：イナ・セゼールを中心に
廣松勲(法政大学)
- 15:20-15:50 ハーンにおける異質なものの表象
長岡真吾(島根大学)
- 16:00-17:00 【基調講演1】多言語的なアメリカとハーン
西成彦(立命館大学)

2月12日(日) 震災復興祈念

—熊本の研究者と手を携えて—

- 10:10-10:40 シンシナティ時代におけるハーンの記事について
水野真理子(富山大学)
- 10:40-11:10 ハーンの弟子達のボードレール
小谷瑛輔(富山大学)
- 11:10-11:40 小学校・中学校国語教科書における小泉八雲作品の行方
西田谷洋(富山大学)
- 13:10-13:40 ハーン作品における『ひとりであること』について
池田志郎(熊本大学)
- 13:40-14:10 ハーンの「柔術」
濱田明(熊本大学)
- 14:20-15:20 【基調講演2】ハーンの言語観と英語教育
西川盛雄(熊本大学名誉教授)
- 15:30-17:00 全体討論

問合せ先：富山大学人文学部中島研究室 toshie@hmt.u-toyama.ac.jp